



国道353号(村上工区) 落石対策



尻谷沢 土石流対策



県道前橋伊香保線(大久保工区) 歩道整備

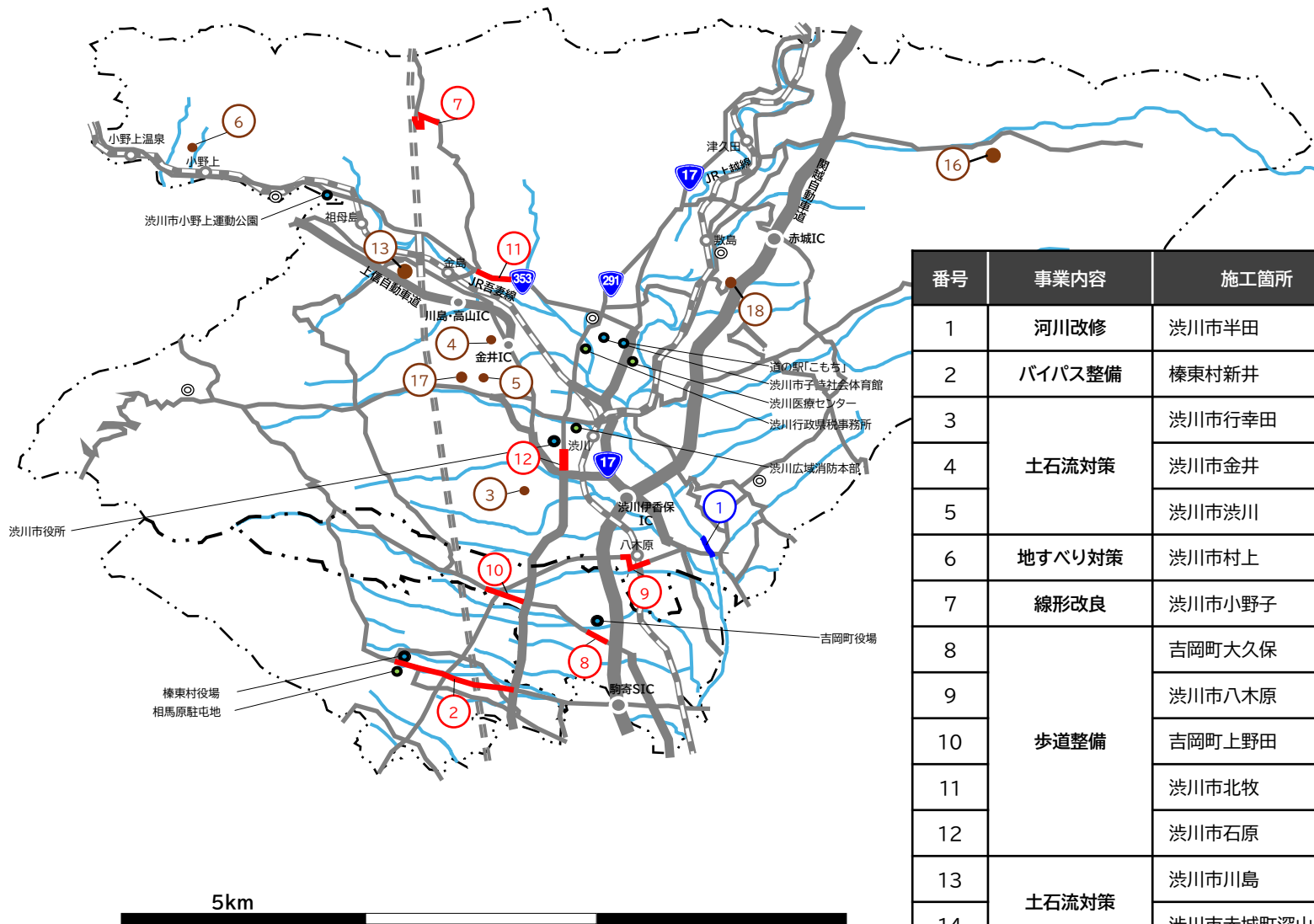
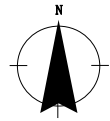
よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業 の 目的、効果、進捗状況 を 情報発信 ～

北群馬渋川地域

令和8年度版

北群馬渋川地域



凡 例	
【事業分野区分】	
—	道路事業
—	河川事業
●	砂防事業
●	その他事業(下水、住宅等)
【その他】	
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点)
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
●	主要な物流拠点(産業団地)

番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	河川改修	渋川市半田	一級河川利根川(半田工区)
2	バイパス整備	榑東村新井	県道南新井前橋線(4期工区)
3	土石流対策	渋川市行幸田	尻谷沢
4		渋川市金井	下町の沢
5		渋川市渋川	袋沢-2
6	地すべり対策	渋川市村上	上中尾地区
7	線形改良	渋川市小野子	県道渋川下新田線(小野子工区)
8	歩道整備	吉岡町大久保	県道前橋伊香保線(大久保工区)
9		渋川市八木原	県道高崎安中渋川線(八木原工区)
10		吉岡町上野田	県道前橋伊香保線(上野田工区)
11		渋川市北牧	国道353号(北牧工区)
12		渋川市石原	(都)渋川高崎線(街中工区)
13	土石流対策	渋川市川島	不動沢2
14		渋川市赤城町深山	前林沢
15	がけ崩れ対策	渋川市渋川	御蔭(D)-2地区
16	土石流対策	渋川市赤城町宮田	北の沢

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて
流せる水の量を増やします

地元の 声

・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。（地域住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市半田
- 事業内容：堤防嵩上げ 延長約300m（右岸）
- 事業期間：令和6年度～
- 事業着手前の流下能力：約3,700m³/s
- 計画流量：4,400m³/s

※事業延長は、詳細調査の結果で変更となる可能性があります。

事業前

- ◆ 右岸側の堤防が低く、背後には工場や人家が密集しているため、氾濫した場合には甚大な被害が想定されます。



事業前の状況

事業後

- ◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	78.7ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	107戸

実施後（目標）
0ha
0戸



事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

令和8年度は、用地調査を行います。



県道南新井前橋線（4期工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路を
つくります

地元の
声

- ・災害時の安全な通行を確保するため、駒寄スマートICへのアクセス性を向上してほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く歩行者、自転車が危険に晒されているため、安全性を向上してほしい。（学校関係者）

事業の概要

- 事業箇所：榛東村新井
- 事業内容：バイパス整備 延長 2.6km 道路幅12.5m
- 事業期間：平成29年度～
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 現在の交通量：5,258台/日（現道 自動車）
40台/日（現道 歩行者）
51台/日（現道 自転車）
- 計画交通量：4,900台/日（現道 自動車）
（令和12年度）8,900台/日（バイパス 自動車）

事業前

- ◆ 道幅が狭い上、朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な車両の走行に支障をきたしています。



事業前の状況

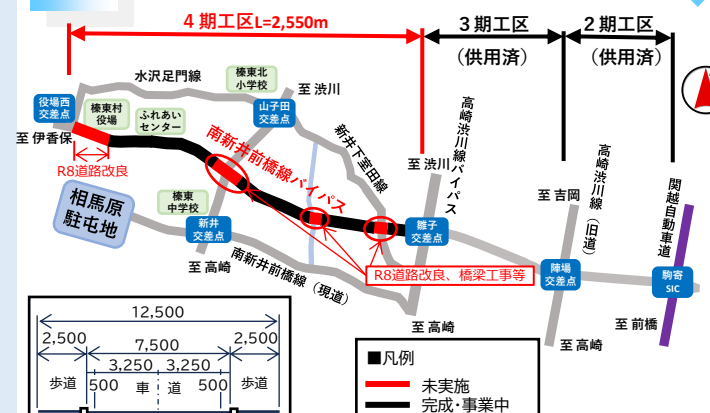
事業後

- ◆ 一般車をはじめ自衛隊車両等の緊急車両も、駒寄スマートICへの円滑なアクセスが可能になります。



事業後のイメージ

事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

令和8年度は、バイパス開通を目指し、道路改良工事、橋梁工事等を実施します。



成果を示す項目	実施前
移動時間（相馬ヶ原駐屯地→駒寄IC）	21分

実施後（目標）
9分（12分減少）

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の 声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市行幸田
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和元年度～令和7年度

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

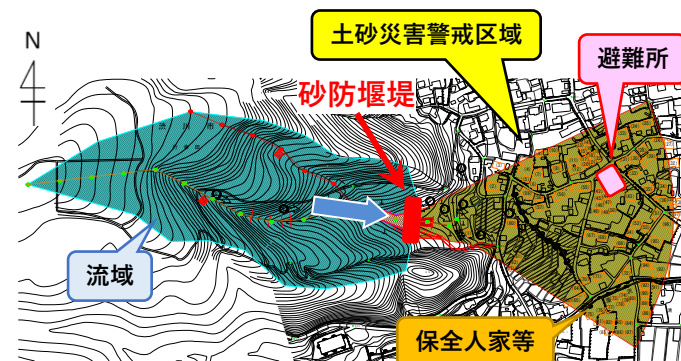


事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	96戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (豊秋公民館)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元
の声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市金井
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



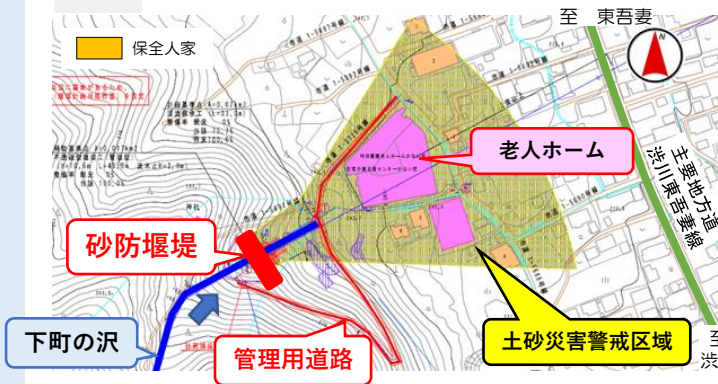
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	6戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (老人ホーム)

実施後(目標)
0戸
0施設



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、砂防堰堤のコンクリート打設工事に着手します。



砂防堰堤
計画位置

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元
の
声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市渋川
- 事業内容: 砂防堰堤 2基
- 事業期間: 令和2年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



荒廃状況



荒廃状況

事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目

実施前

被害を受けるおそれのある重要施設等

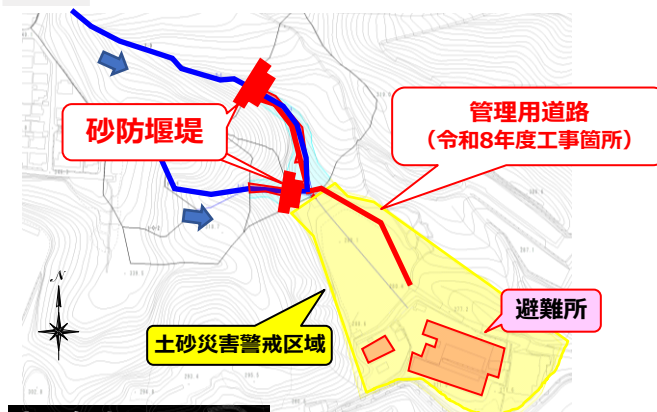
2施設
(渋川西小学校、体育館)

実施後(目標)

0施設



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、管理用道路の工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくります

地元の声

- ・早期に対策工事を行って安心して暮らせるようにしてほしい。(地元住民)
- ・大雨の時に地すべりが起こらないか不安。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市村上
- 事業内容: 横ボーリング工、集水井工
- 事業期間: 令和6年度～

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

事業前

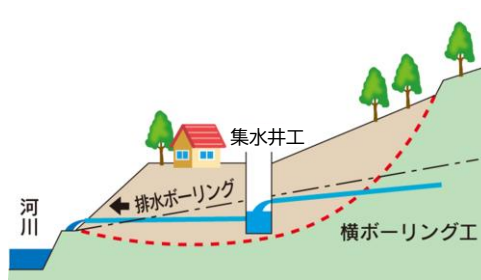
- ◆ 令和2年3月に斜面に小規模な亀裂が発生し、地すべりの兆候が見られました。



事業前の状況

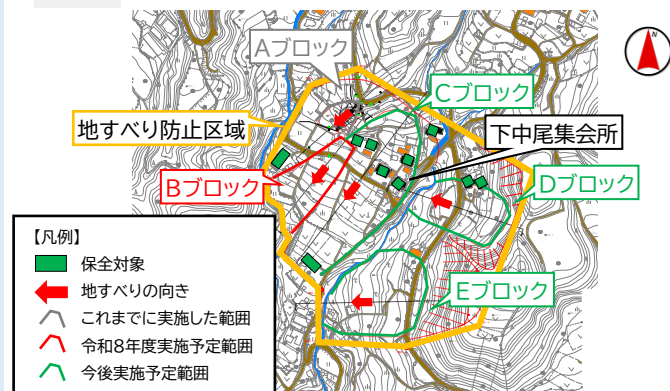
事業後

- ◆ 横ボーリング工・集水井工を整備し地下水を排除することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度はAブロックの工事が完了し、令和8年度はBブロックの工事を進めます。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	10戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (下中尾集会所)

実施後(目標)
0戸
0施設

しぶかわしもしんでん おのこ 県道渋川下新田線（小野子工区）線形改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

急カーブを
ゆるくします

地元の
声

- ・「道の駅中山盆地」へ行く際に利用するので、急カーブを無くしてほしいです。（地元住民）
- ・日当たりが悪く冬場は路面が凍結するため、線形が改善されることを期待します。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市小野子
- 事業内容：線形改良 延長860m 幅員7.5m
- 事業期間：平成25年度～
- 現在の交通量：3,643台/日（自動車）
（令和3年度） 18人/12時間（歩行者）
1台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 急カーブが連続し、とくに冬場では路面が凍結するため、危険な状況です。



急カーブ
曲線半径60m未満

事業前の状況

事業後

- ◆ 急カーブが改善され、安全に走行できるようになります。



事業後
曲線半径
60m以上

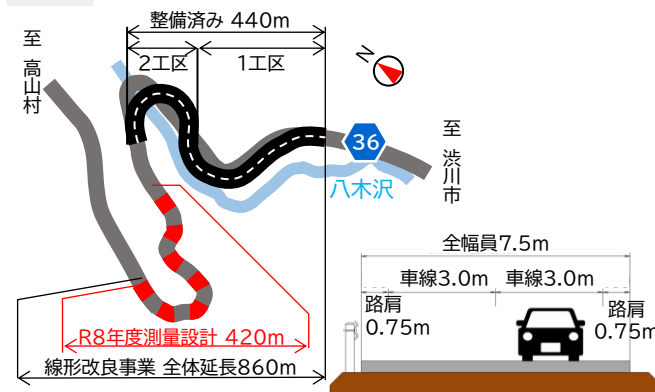
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
急カーブ数	2箇所

実施後（目標）
0箇所



事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

これまでに1工区と2工区の工事が完了し、令和8年度は、未整備区間の測量設計を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

県道前橋伊香保線（大久保工区）歩道整備事業

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備しました

地元
の声

- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。（地元中学生）
- ・児童、生徒が歩くすぐ横を車が走るの、事故が起きないか心配です。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：吉岡町大久保
 - 事業内容：歩道整備 延長500m、歩道幅員2.5m
 - 事業期間：平成29年度～令和7年度
- 現在の交通量：17,106台/日（自動車）
55人/12時間（歩行者）
65台/12時間（自転車）
（令和3年度）

事業前

- ◆ 歩道が無く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

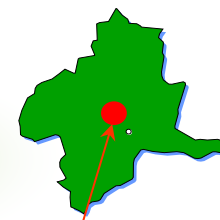
- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



事業後の状況

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

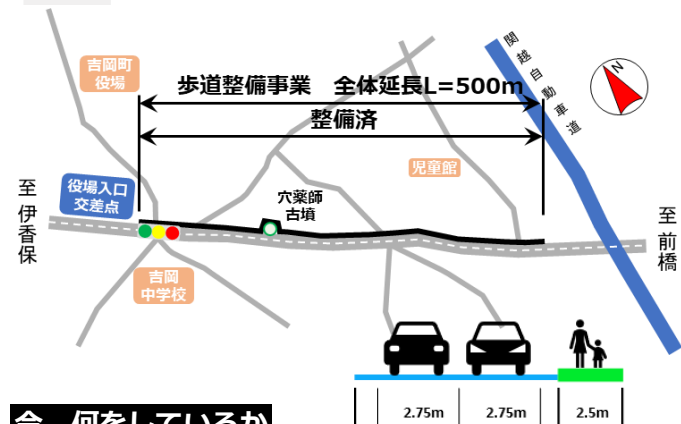
実施後（目標）
100%
100%



事業位置
吉岡町



事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度末に事業区間の歩道整備が完了し、児童等が安全に通学できるようになりました。



県道高崎安中渋川線（八木原工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元 の声

- ・歩道がなく、注意して通っているが、怖い瞬間がよくある。（地元中学生）
- ・児童、生徒が歩く時に、車がすぐ横を通るので接触が怖い。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市八木原～半田
- 事業内容：歩道整備 延長750m、
自転車通行帯1.5m 歩道幅員2.5m
- 事業期間：令和元年度～
- 現在の交通量：5,919台/日（自動車）
26人/12時間（歩行者）
34台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 歩道が無く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。

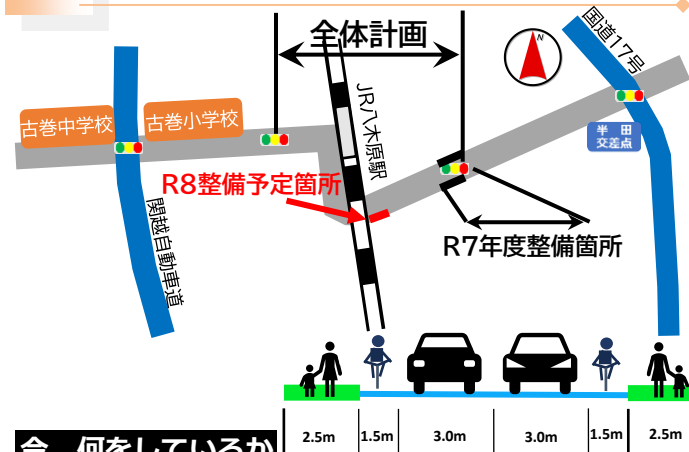


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後（目標）
100%

事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得、歩道整備工事を進めます。



まえばしい かほ かみのだ
県道前橋伊香保線（上野田工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元
の声

- ・歩道がない箇所があり、歩行者の横を車が通行するため、危ない。（地元住民）
- ・歩道が狭く、車と歩行者との距離が近い。危ないため、歩道を広くしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所: 吉岡町上野田
 - 事業内容: 歩道整備 延長800m 歩道幅員2.5m （令和3年度）
 - 事業期間: 令和5年度～
- 現在の交通量: 6,039台/日(自動車)
 66人/12時間(歩行者)
 31台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 片側しか歩道がないうえ、幅員が狭く児童たちがすれ違う時に車道側を通行せざるを得ない状況から、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を広げることで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得と、西側の歩道整備工事及び上野田交差点の交差点改良工事(右折レーン設置等)を行います。



整備予定箇所

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

国道353号（北牧工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元
の声

- ・児童の通学路のため、歩道整備し安全を確保してほしい。（学校関係者）
- ・車道の幅が狭く、見通しが悪い上にスピードを出す車が多いため、大変危険です。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市北牧
- 事業内容：歩道整備 延長1,200m、
自転車通行帯1.5m 歩道幅員2.5m
- 事業期間：令和4年度～

- 現在の交通量：13,360台/日（自動車）
24人/12時間（歩行者）
1台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 歩道が狭く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

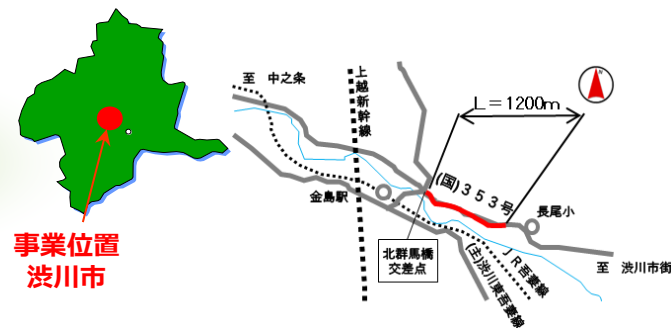
- ◆ 車道と歩道が分離されることで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



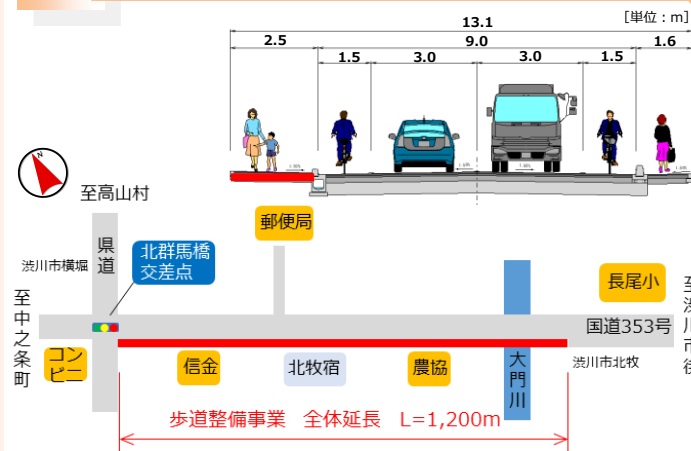
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後（目標）
100%



事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

令和8年度は歩道整備に必要となる用地取得を行います。



整備予定箇所

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

（都） 渋川高崎線（街中工区） 歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道と自転車通行帯
を設置します

地元の
声

- ・小学校の通学路となっているため、登下校する児童の安全を確保してほしい。（地元住民、学校関係者）
- ・道が狭く自転車と車との接触が心配なので、自転車と車の通行を分けてほしい。（地元住民、学校関係者）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市石原
- 事業内容：歩道整備延長 660m
歩道幅2.0m 自転車通行帯2.0m
電線共同溝整備延長 1,320m

- 事業期間：令和3年度～
- 現在の交通量：7,616台/日(自動車)
(令和3年度) 46人/12時間(歩行者)
32台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 歩道や自転車通行空間がないため、歩行者や自転車の安全な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 車道と歩道の分離と自転車通行帯の整備により、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保するとともに、自動車の通行を円滑にします。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2.0m以上の歩道整備率	18%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
100%
なし



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き歩道整備に必要な用地取得を行います。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります地元
の声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市川島
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

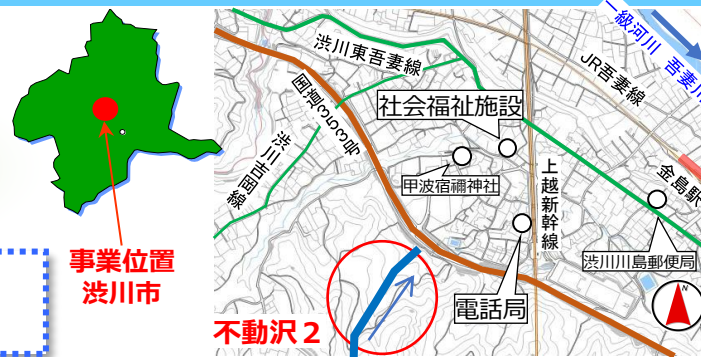
- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	34戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (上信自動車道)

実施後(目標)
0戸
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、砂防堰堤の詳細な設計を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元
の
声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

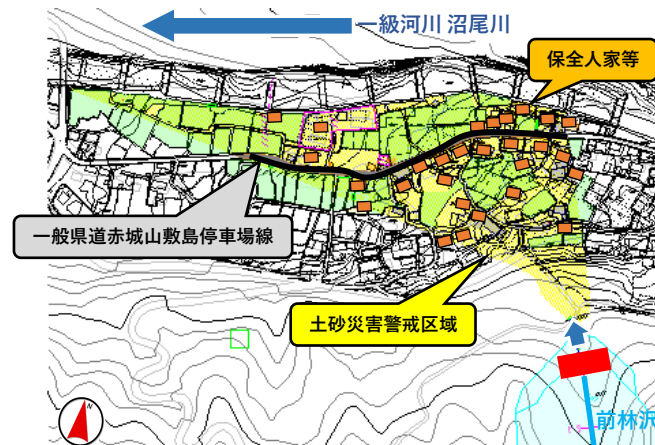
砂防堰堤を
つくります



事業位置
渋川市

前林沢

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、砂防堰堤の詳細な設計を行います。



事業の概要

- 事業箇所: 渋川市赤城町深山
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	37戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (県道赤城山敷島停車場線)

実施後(目標)
0戸
0箇所



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法面对策を
します

地元の
声

- ・がけ崩れから避難所に指定されている渋川青翠高校を守っていただきたい。(地元住民)
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市渋川
- 事業内容: 法枠工 A=840m²
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法面对策をすることにより、斜面を安定させ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

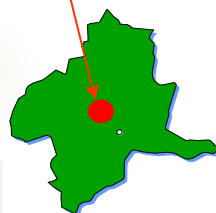


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	11戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (渋川青翠高校)

実施後(目標)
0戸
0施設

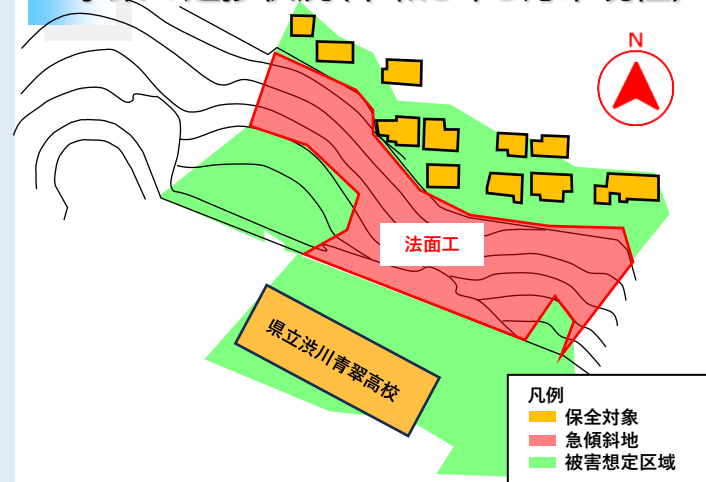
事業位置
渋川市



御蔭(D)-2地区



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、法面工の詳細な設計を行います。



工事箇所状況

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります地元
の声

・台風や大雨が降ると土石流が発生する心配があるので、早く堰堤が出来ることを望む。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市赤城町宮田
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	18戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道下久屋渋川線)

実施後(目標)
0戸
0箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、砂防堰堤の詳細な設計を行います。

